

つきがた 町民花火大会

8月10日、つきがたイベント委員会が主催する「つきがた町民花火大会」が開催されました。

月形町の大きなイベントである「つきがた夏まつり」が、新型コロナウイルス感染症の影響により、今年も開催中止となりました。つきがたイベント委員会の「町民の皆さんが元気に、笑顔になれるイベントを開催したい」という思いから、今回の花火大会の開催を決定しました。

当日は約2000発の花火が打ち上げられ、月形町の夜空を彩りました。町民からは、「家の中からゆっくり花火を見ることができた。久しぶりに打ち上げ花火を見ることができて感動した。是非、来年も開催してほしい」など、たくさんの方の声が寄せられました。



つきがたキッズフェス

花火の打ち上げ前には、月形樺戸博物館の敷地内で、月形商工会青年部が主催する「つきがたキッズフェス」が開催されました。

つきがた樺戸太鼓による演奏が行われたほか、月形商工会青年部、月形商工会女性部、月形町農協青年部、町内の福祉施設やNPO、まちづくり団体などが出店をしました。子どもたちは、くじ引きや輪投げなど、さまざまな遊びを楽しみました。

花火のあとは

8月11日、イベント委員会の方々が集まり、月形中学校と月形高校のグラウンド周辺に落ちた打上花火の破片を回収する清掃活動が行われました。

参加者は「花火大会の後に清掃をしていることを初めて知った。予想していたよりも破片が多くて拾うのが大変だ」と、花火大会の裏事情に驚きつつ、清掃活動を終えました。



今回の花火大会は、町内の団体や町民の方の協力を得て開催することができました。ご協力いただきました皆さん、ありがとうございました。

